

平成29年 第1回 愛別町総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成29年12月8日(金)
開会 午後2時57分 閉会 午後3時55分

2. 場 所 愛別町総合センター 1階 長寿の間

3. 出席者 愛 別 町 町 長 前佛 秀幸
愛別町教育委員会 教育長 大山 一成
委 員 中田 栄一
委 員 長屋 修二
委 員 森定 典子
委 員 三嶋 健嗣

事務局関係

総務企画課長	山中富士男
総務企画課長補佐	武田 典明
総務企画課総務係長	上北 泰志
教育委員会教育次長	谷田 道明
教育委員会主幹	高田 直樹
教育委員会学校教育係長	三浦 英和
教育委員会社会教育係長	白鳥 俊樹
教育委員会スポーツ推進係長	田邊 計吾
教育委員会教育推進アドバイザー	朝倉 信

4. 協議事項 (1) 平成30年度教育予算(事業)等について
(2) その他

5. 議事経過の内容 別紙のとおり

発言者	発言概要
山中課長	それでは、時間前ですが、皆さんお忙しい中でお集りですので、さっそく、本年度の愛別町総合教育会議を開会いたします。開会にあたりまして、前佛町長よりご挨拶致します。
前佛町長	皆さん、こんにちは。それぞれお忙しい中、愛別町の総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。何より皆様にはそれぞれ教育の分野でご活躍いただいております、また、子ども達も健やかに成長し、子ども達に関わる大きな事件、事故もなく、皆さんのご尽力のお陰だと感謝しているところです。今日は、新年度にむけて、さらには将来の愛別町の教育の方向性について皆様のご意見をいただきながら、愛別町の教育の推進、そして、未来を担う子ども達の教育に向けて、しっかりと町も一緒になって進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願い申し上げます。
山中課長	本日の総合教育会議の議事録署名委員の指名ということで町長からお願い致します。
前佛町長	それでは、私の方から議事録署名委員を指名させていただきます。長屋委員と森定委員をお願い致します。
山中課長	協議事項に入りたいと思います。平成30年度教育予算等についてということで、教育委員会からお願い致します。
谷田次長	(平成30年度教育予算(事業)等について、資料に基づき説明)
朝倉教育推進アドバイザー	(学校運営協議会制度への移行、小中連携・一貫、教育振興基本計画等について、資料に基づき説明)
山中課長	協議事項の進行を町長の方でお願いいたします。
前佛町長	それでは、それぞれ事務局から説明させました。この後、協議事項ということで皆様と協議を進めてまいりたいと思います。教育分野の専門分野と行政分野がどう連携していくか、そんな視点でご意見をいただければと思っております。 まず新規事業について、町としても応援するところはしっかりしていきたいと考えているところです。新規事業の部分でご意見をいただければと思います。スクールバスの運行についてはどこの運送業もそうですが、運転手の確保が非常に困難な時代に入ってきているところでありまして、町内においても運転手確保が非常に難しいというか、どうしても町が直接採用するとなると、町の臨時職員という扱いになりまして、町内広く平等に募集するため年齢制限を設けなければならないという背景があり、尚更、運転手を募集して確保するのは厳しい状況になってきます。そんな中で町のバスの運行も含めてスクールバス等も一緒に運行委託をかけたいというのが町の考え方でありまして、スクールバスの運営についても、一体的な委託に向けて皆様方のご協力、お知恵を拝借したいと思っております。

大山教育長	<p>スクールバスの関係ですが、現在は4台でそれぞれの地域を回しながら動かしている状況です。登校便は、ある程度児童生徒が乗りますが、下校便になると、特に中学校の部活便はバスに1人しか乗っていないというような状況があります。バスについても、もう6年近くなるのかと思いますが、一定程度の距離も走っていますし、老朽化もしている現状を考えたときに、次の車体更新の折には、普通免許でも運転できるような8人、9人乗りタイプの車でも間に合う路線も出てくるのかと思っています。来年ではなくても結構ですが、その辺も見据えた中で施設整備を考えていかなければいけないかと思っています。今後また細かい部分で協議をお願いできればと思っています。</p>
前佛町長	<p>今、役場にある公用車は10人乗りが一番大きいですが、それで間に合う時代が来るのかもしれない。そんなことも想定しながら考えていきたいと思っています。</p>
大山教育長	<p>中学生の帰りはそれで間に合うと思うんです。協和線はそんなにいないですし、部活やる子とやらない子と二手に分かれるとすれば、10人乗りでも十分に間に合うかと思っています。今後の児童生徒の推移も見ながら色々検討していかなければいけないと思っています。</p>
長屋委員	<p>大型免許を持っているから乗れるという話にもならないし、まして子どもさん乗せて、何かあってからでは遅いし。大型バスになると運転手が見つからないという話も間違いないです。小さくしてでも分けた方が良いのか。</p>
前佛町長	<p>普通免許で乗れるということであれば、運転経験があれば大丈夫かなと思いますが、大型については免許があるだけではちょっと心配で、人を乗せたという運転経験が必要かと思っています。採用する時には、そんなことも考慮しながら採用させていただいています。あと、新規事業につきまして、その他の部分でいかがですか。ハード部分につきましては、地区集会施設は計画的に進めさせていただいており、予算も平準化をはかっておりますので、ご了解いただきたいと思っています。</p>
中田委員	<p>学習指導要領が変わってきて、特に小学校は、担任が決まっているから、誰でも同じように英語を教えられるかといったら難しいと思う。自信をもってやれる人を新たに確保していくことも考えていく必要がある。</p>
前物町長	<p>小学校は、教科制でないところに、英語教育という難しさがあるということですが。</p>
中田委員	<p>小中一貫の部分で、中学校の英語の先生が小学生で教えられる体制を取れば良いんだろうけど。</p>
大山教育長	<p>他の町もそうですが、小学校と中学校を兼務発令するようなことで、先生方の交流がしやすくなるということもあります。愛別中学校勤務</p>

を命ずるといったら、本当に年に何回か出前授業みたいな感じでは小学校に行けるんですが、週1回、週2回行くとなるとやはり兼務発令が必要なのかと思っています。例えば、英語の専科の先生が1人しかいない場合、1年から3年の英語の授業数を考えると、小学校まで行くのはちょっと難しいかなと思うんですが、2人いるとすれば、それが少し可能になるのかなと思っています。現在2人いますので、30年度の人事協議の折にも、その体制をとっていきような協議はさせていただきます。その中で小学校に出向く回数を増やせるような体制にできればと思っています。しかし、それがいつまで続けられるのかといった部分もありますし、小学校の教員の中でもスキルアップしていただかなければならない部分もありますので、人的な部分では努力していこうと思っています。平成32年度から小学校5、6年生は教科化で年間70時間、3、4年生が教科ではないんですが35時間のコマ数になりますが、上川管内、特に中央部は、30年度から移行期間2年間をそのコマ数でやっていこうということで、それぞれ校長会、教頭会等々とも協議が終わっておりまして、30年度から本格実施のようなスタイルでやります。そんな中で危惧しているのが教員の定数問題です。小学校の児童数、普通学級の人数が99人以下になれば、事務職員と養護教諭は別にして、6学級の担任の先生プラス校長、教頭しかいなくなるんです。今は99人を超えていますので、6学級プラス1プラス校長、教頭なんですが、来年度から児童数の減で教員が1名減になるということなんです。それで、外国語活動の部分がどうなのかなということで危惧はしています。ただ、校長からは、今の人数の中で頑張っていきたいという力強いご意見をいただいているので、特別な加配要求はしてはいないんですが、ゆくゆくは連携、一貫教育を目指した中で加配が必須だというような先進地のお話も聞いておりますので、平成31年度に向けて要求をしていこうかと思っています。道徳についてはそれぞれ教科書が選定されていますので、中学校は来年からですが、問題なく進めるのかと思っています。小学校の外国語活動については人的な部分で窮屈な部分も出てくるのかなと思っています。

前佛町長

学習指導要領の教科化については、学校の先生の技量に頼るところが大きいと思っています。行政の分野で応援できるのは、先生方のスキルアップのための予算付けをするということぐらいかと思っています。教育現場の中で、先生方の指導力向上に向けての研修なり体制なりを作っていただきたい。そのための財政的なもの、それから住民や保護者の理解とか、そういう部分について、行政として応援させていただきます。この教科が義務化されてまいりますと小学校の教員全てがその技術、能力を持たなければならない。学校の中でも必ず上級生を持つとか下級生を持つとか、そんなことは限らないわけで、小学校

	<p>の先生方も構えておられるかと思いますが、その移行期間の中で小学校の先生方の資質の向上に向けて、支援体制をしっかりと、総合教育会議の中でも確認しながら進めてまいりたいと思っています。</p> <p>あと新規事業の中でよろしいですか。</p>
一同	はい。
前佛町長	<p>それでは2つ目の継続事業で特徴的な事業の中で、ご意見がございましたらお願いいたします。色んな補助事業等については、それなりに効果が上がっていると認識しているところですし、町民の方々にも周知、PRをさせていただいているところです。こんな補助事業が子ども達に有効に効果を上げているということで、私、町長の立場でも住民の方々にも説明をさせていただいています。この部分については、保護者の方々のご理解をいただいている状況だと思っているんですが、ご理解いただいていますよね。</p> <p>あと、どうしても都市部と町村部の学力とか体験が不足する部分についても、教育委員会で一生懸命頑張らせていただいています。そんな事業の投資で、子ども達が都市部の子ども達に負けないようにということで、町としてもしっかりと応援してまいりたいと思っています。</p> <p>教職員の研修事業はどうですか。町の予算付けをさせていただいているんですが、効果は上がっていますか。</p>
大山教育長	<p>3年間秋田に行かせていただいて、特に小学校は、板書が統一されてきました。今日の授業のめあてだとか、課題、ねらい、まとめということで、1年生から6年生まで同じような板書の取り方、それと合わせてノートも同じように書くというような指導を校長以下進めていただいて、統一されてきているかと思っています。中学校はなかなかできていなかったんですが、以前に教育局の指導監が来て、中学校に、こういう課題があるんじゃないですかということで投げかけていったのが板書です。それで、先日、秋の訪問で指導監が来て、1年2年3年生の授業を見たら、全部板書が揃っていたんです。そこで、中学校さん頑張りましたねというお褒めの言葉をいただきました。学校全体として同じ取組ができるということで、教員の一体感が生まれる、これが良い学校になりつつあるのではないかというような評価をいただいていますので、ゆくゆくは学力にもつながっていくのではないかと、私も期待させていただいています。</p>
前物町長	<p>先生方の色んな研修、また町における先進地視察研修を通して、様々なことで逐次習得をしていただき、現場に反映していただければと思っていますところ。継続事業の中で他にございませんか。</p> <p>よろしいですか。</p>
一同	はい。
前物町長	では、3つめの人材確保関係です。人材確保については、運転手も含

	<p>めて、色んな部分で、人を確保することが非常に難しい時代に入ってきていると思っているところです。しかしながら、それぞれ技術をお持ちの方がたくさんいらっしゃるわけです。そんな方から何とか確保していきたいということで、皆様方の尚一層のご協力をいただきたいと思っているところです。人材確保関係の中で、ご意見をいただきたいと思います。</p>
大山教育長	<p>学童保育の指導員の関係です。直接的にお話を聞いたわけではないんですが、指導員は、労働時間数が少ないことによる手取賃金が、新たに応募される方の障害になっているのかなというような気もするところです。そこをクリアするためにはどんなことが良いかということですが、例えば教育委員会の臨時職員として、9時30分から夕方の6時とか7時くらいまで勤務をしていただいて、学童が開いていない時間は事務をやってもらうということだと、もっと若い年齢の方もひょっとしたら応募していただける部分もあるのかなと思ったりしています。過去には、保育経験のある方ですとか、保育士の資格のある方を応募資格としていたんですが、今は、研修を受けた指導員が必ずその学童保育時間帯に1人はいるという体制を取れば、法律的に良くなったものですから、そういう形で確保ができれば良いかなと思っていますので、30年度以降に向けて、そんなことを考えさせていただければと思っているところです。</p>
前佛町長	<p>学童保育の中身的には、その中で教科を教えるということではなくて、保育がメインですよ。</p>
大山教育長	<p>はい、そうです。</p>
前佛町長	<p>そう考えると、先ほど事務局の方から、65歳ということがありましたが、この年齢の上限を上げるという対策も考えなければならぬかなと思っています。何より、探すのが大変なんですけど、何とかよろしく願いいたします。</p> <p>学校図書室に関わる職員の確保についても、これも毎年いただいているんですが、何とか良い方法を、来年すぐというわけにはいかないでしょうけど、将来に向かって教育委員の中でもご検討いただきたいなと思っています。</p> <p>人材確保関係よろしいでしょうか。</p>
一同	<p>はい。</p>
前佛町長	<p>では、最後になりますが、今後の課題ということで、先ほどご説明申し上げました。色んな課題の中で、朝倉先生にも、将来に向けての計画部分を先ほどお示しいたしました。その方針に従って進めさせていただきたいと思っているところです。皆様方からご意見ございませんか。</p>
中田委員	<p>今、子どもは本当に少なくなってきたから、学校、小中学校1つ</p>

	<p>ずついらなくなってくる。</p>
<p>前佛町長</p>	<p>子どもの数が減るとなると、児童生徒一人ひとりに与えなければならぬもの、教材という部分とか器具という部分も将来を考えながら整備していかなければならないと思います。特に、どうしても必要なもの、消耗品的なものは良いんですが、将来まだ何年か使うというICT機器については、十分将来を見据えながら計画的に整備をしていくということで、町も予算付けをさせていただいています。一気に整備すると町としてもちょっと負担が大きいので、計画的にということで、教育委員会の皆様のご理解をいただきながら整備をさせていただいているところです。ICT教育関係については、町民の方々も深い関心を持っている、議員の皆さんの中にもICT教育を是非進めるべきだ、予算をたくさんつけるべきという、そんなご意見もいただいているところですが、町としてはその予算を有効に活用するために、その機器を使って教育効果を上げられる体制に依拠して、機器を整備していきますということで答弁させていただいていますので、この活用に向けても皆様方のお力添えをいただきたいと思っていますところ。</p>
<p>大山教育長</p>	<p>ちょっと細かい話ですが、学校公務補の委託化の部分です。学校の公務補が、今、小学校が再任用で週4日を原則として勤務してもらっていますが、中学校についても今後、希望があれば再任用ということになるんですが、例えば再任用先を役場の方にするとか、そういうことも可能かと思っています。幼児センターの話を見ると、施設の管理を一体化して公務補さんの職務をしている方が非常に手先が器用で、ちょっとしたことは全部直してくれるんです。そういう方を会社の中で手当てができるのであれば、学校も本当に細々と修繕する箇所があるものですから、小中学校を委託にするのであれば1本にして委託するのが良いのかなとも思います。再任用制度も含めて、役場、学校、幼児センターの枠組みの中で考えていくことも1つなのかと思っていますので、原課とも協議していただくような配慮もしていただければ大変ありがたいと思っています。</p>
<p>前佛町長</p>	<p>今後は、公務補は非正規職員ということでの対応という形で進めていかなければならないですが、その中で効率的にという部分は、これからは教育委員会なり役場なり、事務局の中で協議、進めていく必要があるかなと思っていますところ。とりあえずは、今、再任用されている方と、今、現職の方が、再任用を希望されればもう少し先に延びますが、将来的なことも考えて頭に入れながら対応していきたいと思っています。</p> <p>学校施設、社会教育、社会体育施設につきましては、公共施設の管理計画、町としての全体の公共施設の管理計画の中に組み込みさせていただいて、必要な残すべき公共施設については維持補修をしていくことで、計画的に進めていきたいと思っていますところ。</p>

	<p>今後の課題につきまして、あとございませんか。</p> <p>先ほど、朝倉先生の方からお話ありましたコミュニティスクールが今かなりのところが出来てきているのかなと思っているところです。それも組み込んだ中での愛別町の教育振興基本計画等々、色んな関係のものが変わっていくのかなと思っているところです。また、先を考えて、小学校、中学校をどうしていくのかということも頭に入れながら、尚一層小中の連携を進めていかなければならないと、そんな時代背景になっているところだと思います。このコミュニティスクールにつきましては、住民意見を反映する学校運営ですから、この計画に沿いしっかりと進めていくということをお願いしたいと思っていますところです。将来的な子ども達の減少の中で、いかに子ども達の教育、育ちを守っていくかという部分についても皆様方に、その都度その都度将来に向けてのご意見をいただきながら進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>今後の課題について、あとございませんか。</p> <p>それでは閉じさせてもらってもよろしいですか。</p>
山中課長	事務局からその他ということであります。
前佛町長	事務局の方からその他があるということで、お願いします。
三浦係長	(愛別町のいじめの現状、対応状況について資料を基に説明)
前佛町長	他にございますか。
山中課長	その他はこの1件です。
前佛町長	それでは、これで閉じさせてもらってもよろしいですか。
一同	はい。
前佛町長	それでは、これで協議を終了させていただきます。ありがとうございました。
山中課長	これをもちまして、第1回愛別町総合教育会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

議事録署名委員 森 定典子

議事録署名委員 長屋 修二